

学校がなくなる!

子どもの減少?

14校 (明治ごろ) → 6校 (1986) → 4校 (2008) → 3校 (2022)

— 金砂郷の先人の足跡も考えてみました —

調べた理由

私たちは来年3月に小学校を卒業します。そして、久米小学校も2022年3月に閉校します。現在、金砂郷内に3校ある小学校(久米小・郡戸小・金砂郷小)がたった1つに集約されます。以前は金砂小もあり、長い間4校が存続していました。

このことから、金砂郷内の小学校の児童数や学校数の変化や学校跡の現在の様子や大まかな歴史を調べてみたいと思いました。

金砂郷とは...

かつては砂金の産地で、地名もこれに由来していると言われています。1955年に郡戸村・久米村・金砂郷村・金砂村が合併して金砂郷村となり、1993年に金砂郷町に、2004年に常陸太田市に編入されました。常陸太田市の南西部に位置しています。有名なのは納豆と「常陸秋そば」です。「常陸秋そば」の原種は、金砂地区の赤土で作られています。

西金砂神社

806年に造られたと伝えられています。1180年には源頼朝と佐竹秀義の金砂山合戦がありました。最初は、お寺と神社が一緒で、佐竹氏に大切にされましたが、江戸時代に徳川光圀によって神社だけになりました。天然記念物の老木も複数ありますが、72歳ごとの大祭礼や6年ごとの小祭礼が有名です。

久米第二小学校 (1986年開校)

1872年に岩手小・玉造小として開校。久米第二小学校の跡地には、お墓がたくさん残っています。周りには森や田がたくさんあり、近くに神社があります。久米第二小は人数が少なくなって1986年に久米第一小と合併して久米小になりました。

久米城跡

鎌倉時代に大槻氏が館を設けて居住したと伝えられています。その後、小野崎氏から久米氏へ変わり、佐竹氏の佐竹北家として200年余り続きました。しかし、1602年の秋田転封により廃城になりました。佐竹北家の菩提寺として常光院が近くに建っています。

久米第一小学校 (1986年開校)

1873年に大里小学校として開校。1948年に久米第一小となり、103年間続きました。そして、1986年に久米第二小と合併して久米小になりました。現在、跡地は市営住宅になっています。看板が残っていて、様子がよくわかります。

久米小学校 → 金砂郷小学校 (2022年予定)

1986年に開校しました。周辺には、野球場やテニスコート、プール、県管住宅などがつくられました。旧久米第二小から通学している友達はバス通です。現在は統合のための工事が進んでいます。近くには、納豆工場や米迎院阿弥陀堂や久米城跡があります。

金砂小学校 上宮分校 (1972年開校)

1972年に開校しました。現在は「金砂の湯」「そば処金砂庵」となっています。桜がとってもきれいです。

調べる方法

まず、出身者である家族に話を聞きました。次に、現場に行って実際の様子を写真やメモにとり、知っている人にインタビューを行いました。また、統計や歴史等は、学校を通じて資料をもらったり、インターネットで「教育便覧」等を調べたり、「金砂郷村史」等の郷土資料を見たりしました。

上宮分校

年	児童数合計
1970	71

金砂の湯・金砂庵

金砂小学校

年	児童数合計
1970	291
1980	240
1990	98
2000	104

今は「かなさ笑楽校」
←校舎とプールが撤去して、赤い屋根とフェンスは金砂郷中学校

金砂小学校 (2008年閉校)

1873年に上宮河内小・下宮河内小・上利小として開校。戦後金砂小になりましたが、2008年に金郷小と統合しました。現在は、改修して「かなさ笑楽校」として利用されています。豊かな自然体験や生活体験ができる宿泊可能な体験交流施設です。

金郷小学校

年	児童数合計
1970	273
1980	211
1990	145
2000	140

金郷小学校 → 金砂郷小学校 (2022年開校予定)

1872年に中利小・箕村小・竹合小・千寿小がお寺や民家に開校しました。その後、金郷地区の学校が統合され、金郷小となりました。そして、2008年に金砂小と合併して金砂郷小となっています。近くには、国指定重要文化財の西光寺の木造薬師如来座像があります。毎年10月の集中曝露で見ることができます。

金砂郷小

年	児童数合計
1970	119
2020	99

西光寺

郡戸小学校 (2022年開校予定)

1872年に花房小・小島小・松栄小として開校。「常陸国風土記」に久慈の地名の由来や川の様子が記されていますが、郡戸小の東に連なる山が鯨の形に似ていることから久慈という地名になったと考えられています。郡戸小周辺には古墳がたくさんあります。そして、学校も古墳の上に建っていて、地面を掘ると土器のかけらが出てきます。

郡戸小

年	児童数合計
1970	338
1980	199
1990	186
2000	167
2010	85
2020	63

熊鷹の形に見える山 (右はじが「郡戸小」)

香仙寺

1433年に開創された淨土宗のお寺です。県指定天然記念物のシイの木が特かな境内にそびえています。

古墳や遺跡 (●まなも)

金砂郷地区には、たくさん古墳や遺跡が点在しています。縄文と弥生時代の遺跡が15、古墳時代が29、それ以後が36、市の遺跡として指定されています。遺跡や古墳の上にさらに遺跡が造られる重層構造になっている所も10ヶ所あります。写真は①長岩屋敷遺跡の常光院古墳②大方鹿島神社古墳③中野富士山古墳④善光寺権次郎⑤久米城跡

中野富士山古墳

中野富士山古墳

金砂郷地区の児童数の変せん(人)

年	郡戸	久米第1	久米第2	金郷小	金砂小	上宮分校	合計
1970	338	264	117	273	291	71	1354
1980	199	239	75	211	240	24	964
1990	186	284	145	98	98	0	713
2000	167	404	140	104	104	0	815
2010	85	393	0	119	119	0	597
2020	63	212	0	99	99	0	374

金砂郷 人口・世帯数の変せん()は世帯数

年	世帯数	人口合計	金砂人口	金郷地区	久米地区	郡戸地区
1970	2694	12237				
1980	2716	10865				
1990	2758	10424	(614)	(577)	(931)	(6362)
			2060	3239	2674	2475
2000	3423	11700	(693)	(611)	(448)	(719)
			1746	2700	4434	2456
2010	3627	10866	(547)	(610)	(374)	(752)
			1373	2437	4853	2203
2020	3481	9017	(453)	(683)	(1628)	(719)
			1475	2602	4180	1979

<地域の教育に「わいおじいさん」に聞いたこと>

1871年(明治5年)の学制発布を受けて、1872年頃「教育を受けさせたい」という熱意から14校が開校しました。当時先生は各校1人、生徒は少なく、女子はさらに少ない状況でした。学校に行かない子が多かったのは、授業料の問題や家の手伝いもあったからです。義務教育は4年間で6年間にわたったのは1906年です。そして名前も「尋常小学校」「国民学校」「小学校」と変わりましたが、地域に根ざした「自分たちの学校」という意識があり、児童の母親は給食作り等にも協力していました。また地域の有志が運動会や学芸会などの行事も盛んに行われていました。このように、小学校は地域の交流の場にもなっていました。それが「統廃合でなくなる」ということは保護者だけでなく、住民にも影響を与えます。近くの小学校がなくなってしまうと、「不便だから住みたくない」「歩いて通かせない」等の意識が働き、子育て世代が実家近くにシフトしてきます。学校の存在は、地域社会の大変な要素です。← 私たちは受け入れ側でこのことになかなか気づけませんでした。重い課題だと思います。

<1965年に入学した先生の思い出>

ぼくは金郷小学校出身です。20年長い木造の校舎で、50分の雑音がかかっていた。完全給食が始まるまではお弁当を持って通学し、脱脂粉乳が配られた。隣の校舎は新しいが、校舎は古い。校舎の天井は、天井の裏に蜘蛛の巣がたかっていた。校舎の裏には、大きな石の井戸があった。校舎の裏には、大きな石の井戸があった。校舎の裏には、大きな石の井戸があった。



まとめと感想

まず、児童数の減少によって、学校数も減ってきたことがわかりました。児童数は、1990年から2000年には増えたこともありましたが、10年ごとに26%~30%減少していました。2020年の児童数は、1970年の約28%で1/4になっています。1校に集約されるのは、このことが大きな原因なのではないかと。同時に、世帯数や人口は大きく減っていないのに、なぜ子ども数だけこんなに減るのだろうという疑問もわいてきました。「少子化」や「高齢化」が私たちの身近でも進んでいるのでしょうか。子ども数が増えることはさびしいことです。地域を守るためには、大きな課題があると思います。

次に、廃校になった所は再利用されていました。多くの方が行くことができるようにリフォームされると、卒業生も少しは寂しくないだろうと思います。また、これを機会に金砂郷の大まかな歴史を振り返りました。大昔からこの土地の人々が生活し、古墳や遺跡、お城があったなんて思いもありませんでした。教科書の「歴史」が家の「そば」にもあるなんて驚きです。

これらのことから、社会科を学ぶとき、自分の身近な地域ではどうなのかと興味をもって考えたり、疑問点を自分で調べられる力を身につけたりしていきたいと思っています。